

グルマリー・チッドヴィラーサーナンダについての熟考

純粋な崇拝の贈り物

シュバ・デ・オリベイラ・トンプソン

先日、私は父の7回忌を迎えました。毎年この時期、父の愛情深い存在を心からいとおしく思い出します。また、それは特にシッダ・ヨーガの伝統のマントラ、**オーム・ナマー・シヴァーヤ**に向き合い、大切にする時でもあります。それは、グルマリーが私たちに授ける最高の贈り物の一つです。

10代の頃にシッダ・ヨーガの教えを初めて実践し始めた時、私は自分の寝室に**プージャー**を作りました。数年後、私が実家を離れた時にも、両親はプージャーをそのままにしてくれました。実際、父は自分自身をシッダ・ヨーガの友だと考えていたものの積極的なシッダ・ヨーガの生徒ではなかったのですが、プージャーを生花で飾ってくれていました。彼はしばしばプージャーの写真を撮って私に送ってくれました。

私がシュリー・ムクターナンダ・アーシュラムで**セーヴァー**をフルタイムでささげるために米国に向けて出発する前に、父は私に、プージャーを行う方法を教えるよう頼んできました。彼は、私がお香をささげ物として揺らしているのに気づいていて、その伝統を続けたいと言ったのです。このような形でグルマリーを敬いたいという彼の願いに、私はとても心を打たれました。また、彼が私の一日を締めくくる崇拝の儀式に気づいていたことにも驚きました。私はマントラについて簡単に説明し、**オーム・ナマー・シヴァーヤ**を繰り返しながらお香を揺らす方法を彼に見せました。

2004年、私はブラジルの古里にいる両親を訪ねるために戻りました。この訪問の時、父は私の寝室に来てプージャーのそばに立ち、自分はマントラを繰り返し、グルマリーにお香を揺らし

ながらプージャーを行い続けていたと教えてくれました。彼は、「オーム・マナ・シヴァーヤ、オーム・マナ・シヴァーヤ」ととても注意深く繰り返し、数分たつと、「エネルギーの波が私の中で湧き起こり始めて、私の体全体に広がるんだ。よく鳥肌が立つけど、まったく寒くはないんだ！それから私はここに座って、しばらくの間静かにしているのが本当に好きなんだ。こういうことはおまえにも起こるかい？」と言いました。

父の目は輝いていて、彼は穏やかに見えました。私は、この実践が彼に与えてきた深い影響に気づいて驚きました。私は、「プージャーの傍らにマントラの正しい言葉を置いて、彼がオーム・ナマー・シヴァーヤと繰り返せるようにしなければ」と考え続けていました。しかし、私の中の何かが、その時に父の発音を正すことが重要ではないことを知っていました。代わりに、私はもう一度マントラの言葉を繰り返しました。私は、いかにマントラがグルマリーのエネルギーと共に生きており、その人自身の神聖なエネルギーを目覚めさせることができるかを彼に話しました。父はうなずきました。それは彼が体験してきたことなので、彼にとってはすべてが納得できることなのだと、私は気づきました。

アーシュラムに戻った数日後、私はグルマリーに会いました。私はブラジルの家族の所から戻ったばかりであることを伝え、父のマントラの体験について話しました。グルマリーは私の心の中を見ているかのように、私を見詰めました。彼女は少しの間沈黙し、それから私に、サンスクリット語のマナの意味を知っているかどうかを尋ねました。私が知らないと言うと、彼女は、マナは「マインド」を意味すると説明しました。父が「オーム・マナ・シヴァーヤ」と繰り返した時、それは、「私のマインドはシヴァ、私のマインドは純粹だ」と繰り返していたようなものだったのです。優しい笑顔で彼女は言いました。「心配する必要はありません。それで良いのです。それが彼のマントラです」

私は、崇拝の行為としてマントラを繰り返す父の真摯(しんし)な努力が、彼にこれらの甘美な変容の成果をもたらしていたことを理解し、私の心は深い感謝の気持ちで潤みました。

2008 年に、私の父は亡くなりました。私はブラジルで家族と一緒にいて、父が亡くなる前の晩、姉と私は彼と一緒に部屋にいました。彼は私たちと一緒に祈りたいと言い、そして私がどの祈りかを尋ねると、彼は一緒にマントラを繰り返したいと言いました。約 45 分間、私たち3人は、マントラの繰り返しであるマントラ・ジャパを声に出して行いました。父の声はとても低く静かで、私たちの声は一つの美しい音に混ざり合っていたので、彼がナマーかマナか、どちらを繰り返しているのか分かりませんでした。

翌日、彼は安らかに亡くなりました。父はまだ 54 歳で、死に向かっているという事実にとっても苦しんでいたもので、彼が去る時の穏やかな様子はとりわけ大きな意味がありました。彼の最後の数時間、マントラが強く必要とされている時にいかに彼のためにそこにあったか、そしてマントラが彼の人生の最も重要なこの出来事をどのように支えていたかを、私は目の当たりにしました。

年月を重ねる中で、私はこの体験を何度も何度も思い出してきました。私がグルマールイから受け取る祝福は、私の家族や友人に、単純で目立たない形でも、そして最も劇的な状況でも広がるのです。

その恩恵がすべての人の利益のために無条件に輝く私の最愛のグルマールイに、私は永遠に感謝しています。

